

主権者教育実践報告

本校では、主権者教育の一環として剣淵町町長との意見交換会を年に1回実施しています。これは、町長と剣高生（剣友会執行部）が剣淵町の農業・福祉および剣淵町の魅力について意見を交換し、地域に根ざした高校として、今後の在り方を考える機会とすることを目的として実施しています。



【早坂町長の挨拶の様子】

1 日 時

平成 30 年 12 月 10 日（月） 16：00～17：00

2 出席者

- (1) 剣淵町長をはじめ、町内の関係者の方々 8 名
- (2) 本校の生徒（剣友会執行部） 7 名
- (3) 本校校長をはじめとする教員 5 名 計 20 名

3 実施内容

町に対する質問・要望を本校生徒から町長に対して提言し、それに対して町長から回答を頂戴しました。

- (1) 剣淵町との姉妹都市について

- (2) 絵本の里として今後発展させるための方策と、絵本以外の方法
- (3) 高齢化社会に伴う、高齢者施設の増設について
- (4) 剣淵町のPR方法について
- (5) SNSの活用について

これらの質問・要望について町長から具体的な方策を踏まえた回答を頂戴することができました。また、その中で本校生徒から「JRの運行本数と時間について、登下校に見合った便を増設してほしい」という要望をしました。この件について、今後JRに要望をしてくださるという回答を頂きました。また、「通学路の歩道の除雪をしてほしい」という要望をしました。この件について、歩道用の除雪機を高校の通学路でも活用できるか建設課に掛け合ってみるといった回答を頂きました。本校生徒の目線でしか分からないことを町長に提言することができたことは、自分自身で高校づくりや町づくりに主体的に取り組むための大きな経験をすることができました。



【本校生徒が町長に質問・提案をする様子】

※ 写真を探す

4 まとめ

公職選挙法の改正により、選挙権が18歳までに引き下げられた現在、高校生も投票

する機会ができました。その中で、このように町づくりに関する質問・要望を直接町長に提言することができるということは、自分達の生活を見直し、主体的に取り組む資質を養うことにつながり、非常に有意義なものです。

今後もこのような機会を積極的に活用していきます。